

花と緑の
あふれる
まちづくり

岡山市連合婦人会会報

平成26年10月5日
編集兼発行人
岡山市連合婦人会
塩見 槇子
岡山市中区小橋町
電話 二七七八八六
一三三〇
印刷所
岡山市北区表町一四〇
株式会社
内外総合通信社

秋晴れの中自然満喫

日応寺自然の森 スポーツ広場 家族ふれあいフェス開催

平成二十六年九月十四日（日）、家族ふれあいフェスティバルを日応寺自然の森スポーツ広場で岡山市・岡山市連合婦人会等の主催で開催しました。午前十時開会、恒例の香和中学校吹奏楽部の楽しい演奏で始まり、盛りだくさんの各イベント会場で婦人会員がお手伝いしました。

ウォーキング

家族で励まし 合い絆深める

すがすがしい秋晴れの中で、自然の森ウォーキングが開催されました。昨年より三倍ぐら多い参加者（大人九十人、子ども四十九人）がありました。まず、岡山市立少年自然の家（室さん、宮脇さん）と、岡山県ウォーキング協会（分島さんら五人）の方々と、山の中の注意事項やストレッチ体操の

指導の後、出発しました。湿原の中に入り急な上り下りの坂や階段。また、丸太で組まれた細い橋を渡りながら歩いていくと、心地よい沢の流れる音と、さわやかな風が迎えられる、中間地点で一休みできました。途中長い列が離れないよう小休止しながら進み、皆無事に到着すること

ポウリング・輪投げ

高得点に会場 大盛り上がり

今年秋晴れで参加者も多く、ペットボトルポウリング・輪投げ共に二百枚の整理券があつという間に無くなりました。連続でストライクが出たり、輪投げが三個とも入ったりして、大歓声の中で



丸太で組まれた橋を渡る参加者ら

バルーンアート

今年も行列 風船のお土産

毎年長い行列の人気のバルーンアーティスト。今年女の子が多く、男の子の好きな剣ができました。赤ちゃん連れのお父さんや、ご夫婦、多くのご家族の方々の励まし合いながら到着地点を目指す姿は、温かい絆（きずな）を一層深めていると感じられました。

しおり作り

笑顔いっぱい お花や葉っぱを丁寧に

お花や葉っぱを丁寧に並べてあつという間に素敵なしおりができあがり、笑顔いっぱいの子どもたちでした。



花や葉を並べてしおりを作る子どもたち

ムがとも盛り上がりました。お世話する私達も楽しめ、また子どもたちも楽しい体験ができました。



色水の入ったペットボトルを倒すポウリングを楽しむ子ども

復興に役立てて 広島被災地に150万円

炊き込みご飯 婦人会の炊き 込みご飯完売

炊き込みご飯を、パック詰めします。秤（は）

家族ふれあいフェスティバルの来場者を迎え入れる受付担当の婦人会員ら



「お天気にも恵まれ、みなさま家族連れや小さなお子様まで、楽しんでいただけたと思います」と、青少年健全育成部、青山和子部長の言葉でした。



平成二十六年八月二十日に広島市北部で発生した土砂災害で被災された方々に役立ててもらった。岡山市連合婦人会は九月十七日にこの義援金は広島市の配分委員会を通して被災者に渡されます。また、中国雲南省で八月三日に起きた大地震への義援金として、十万円を日中友好協会に送りました。これらの義援金は岡山市連合婦人会が市民の皆様から集めた「愛の募金」を原資とする「被災地域緊急援助基金」からのものです。

日本赤十字社岡山県支部の豊田ひとみ事務局長、左端に義援金の目録を手渡す塩見槇子岡山市連合婦人会長（日本赤十字社岡山県支部）

その他

紙トンボや 風車作り歓声

その他、町内会等が地元特産物の販売、お餅（もち）をべったんべったんと杵（きね）と臼でつくると長い行列ができ、あつという間に売り切れてました。子ども広場は抜けるような青空のもと、紙トンボをつくって飛ばす。風車を作りクルクル回す。遊具やボールで遊び、子どもの歓声、親子の会話で和やかな空気で包まれていました。

文字通りの天高の陽気で、約五千人近くの入場者が、それぞれに初秋の一日を満足させ心身共にリフレッシュしたようです。

社会情勢注視し活動を 市消費生活研究協が総会

岡山市消費生活研究協議会の総会で挨拶する塩見会長（ピュアリティまきび）



岡山市消費生活研究協議会総会が平成二十六年五月十九日、ピュアリティまきびで開かれました。

初めに塩見榎子会長が「食品偽装、TPP、悪質商法等、社会情勢の変化を注視して活動していきましょう」となされました。表示以

挨拶。また、田淵薫市民局長からは「消費者PR、子どもや高齢者の見守り、行政と共に安全安心のまちをつくりましょう」と力強い挨拶を頂きました。議事に入り、平成二十五年度の事業報告、決算報告が行われ、続いて平成二十六年年度の事業計画と収支予算が承認されました。続いて平成二十五年年度の食品表示実態調査の総括が行われました。報告店舗数二千八百七十六店舗のうち、指摘ありが八十五店舗で、そのうち九四%がJAS法・食品衛生法に係る部分であるとの報告がなされました。表示以

外では、消費期限切れや古くて腐った部分があった等、健康被害につながるので店に直接言うことが必要であるとのことでした。岡山市消費生活研究協議会の調査結果を岡山市の消費生活行政へフィードバックすることができていますと締めくくられました。平成二十六年度は消費生活の実態と消費生活センターの認知度についてアンケート調査を実施することが説明されました。

他に二十六年度は桃丘コミュニティハウスとニティハウスと童之口コミュニティハウスに車椅子を寄贈しました。

3学区に車椅子贈呈 各コミュニティハウスへ

車椅子を寄贈した鯉山学区コミュニティ協議会よりお礼状を頂きました。

鯉山学区コミュニティ協議会からの礼状

孤立死防ぐ関係築こう

「遺品整理会社「キーパズ」代表取締役、吉田太一氏が「人生設計〜いつか遺族になる〜」を掲げる「消費者のつどい」が平成二十六年五月十九日、ピュアリティまきびで開催され、

「遺品整理会社「キーパズ」代表取締役、吉田太一氏が「人生設計〜いつか遺族になる〜」を掲げる「消費者のつどい」が平成二十六年五月十九日、ピュアリティまきびで開催され、

故人の家にいって遺品を見るときは、初代オタク世代を見るときは、五十年代から六十年代、年約三百年の孤立死が意外に多いという話は、社会の変化を改めて考えるという「孤立死」の原因としてリストラ

や家族崩壊等により人間関係がとたえ家にとこもり、人が訪ねて来ないからほりだらけ、だから人を招けないという悪循環が起きている。人間関係がわすれられていくという孤立は、これから増えていくと考えられます。社会から孤立しないために孤立死の実態を知り、「自分は孤立したくない」という強い気持ちを持つことが一番の対策と力

説されました。最後に何才まで生きるか目標を立て、やるべきことを考えると、今やること、後でもできる事の優先順位が決まる、一生懸命いきるとい意識を強く持つてほしいと結論づけました。男性も含めて参加した七十人は自分ごとを考え、これから人間関係をつくること、考えたに違いありません。自由と便利さを求めてきた私たちは、若者の孤立化防止策を考え、説いていくことが、自身の孤立化防止策につながることを肝に銘じたいです。

岡山市連合婦人会運営体制図



※48学区・地区が一役を担う

遺品整理会社代表取締役の吉田氏の講演が行われた消費者のつどい（ピュアリティまきび）

主婦連総会 ゼミナール

内容充実の一泊二日

役員13人が東京で研修

平成二十六年六月三日(火)、四日(水)に岡山市連合婦人会役員十三人で主婦会館(東京都千代田区)での主婦連総会、ゼミナールに参加しました。

二・六二泊あり、法隆寺の五重塔がすっぽり収まるそうです。昭和十一年に竣工した国会議事堂は明治以来、あまたの先人たちの熱意と苦勞による結晶であることが伝わって「日本ここにあり」と、強く感じました。

主婦連総会

若者へ消費者問題啓発

六月四日、まず主婦連合会長から「若い世代の人にもっと消費者問題に関心を持ってもらい、主婦連の活動に努力したい」とあいさつがありました。続いて役員改選、総会行事に入りました。平成二十五年度の活動報告、会計報告があ

国会議事堂を視察した岡山市連合婦人会役員ら(国会議事堂)



ていました。ここは、天井までの高さが三動報告、会計報告がありました。

国会議事堂視察

六月三日昼食後、衆議院本会議場へ。テレビで見慣れた議場を上から見ると、コンパクトに感じましたが、歴史の重さを感じられ、先人の苦勞も伝わってくるようでした。

つづいて、御休所。天皇陛下が開会式の当日、最初にここにお入りになり、両院の議長と副議長のあいさつをお受けになれるそうです。総繪(ひのき)の銅像が三方に立っ

重要文化財の数々に驚愕

六月四日、東京国立博物館を見学しました。

博物館を見学しました。同博物館は、日本の博物館で日本と東洋の文化財を保管・展示しています。本館「華麗なる一族」や「半沢直樹」のドラマが撮られた場所でもあります。安土桃山時代の重厚華やかな着物や帯等、数々の重要文化財に驚愕しました。

未来意識した消費行動を

総会後、「これからあるべき消費者市民社会について」消費者基本法を軸として、

ゼミナール

と題して、佐賀大学副学長、経済学部教授の岩本論氏からの講演がありました。



佐賀大学副学長の岩本氏による講演(主婦会館)

「主婦連プラザ」を拠点に情報発信、啓発を展開することと結ばれました。

婦人リーダー養成研修会

ESDについて学習



「身近な地域づくりとESD」について学んだ婦人リーダー養成研修会(6月24日、岡山ふれあいセンター)

六月二十三、二十四日の二日間にわたり、婦人リーダー養成研修会が開催されました。会場は岡山市立中央公

「ESDユネスコ世界会議」にまつわる「身近な地域づくりとESD」についてでした。講師に岡山市ESD世界会議推進局の内藤元久氏をお迎えして、わかりやすく教えていただきました。馴染みにくかったESDが曇りガラスから透明ガラスに変わったかのように鮮明に理解できるようになりました。今までも取り組んでいた皆さんの事業がすべてESDにつながっていたので、マイバッグ持参、節電、リサイクルバザ

まず「消費 消費者ゼミナールの参加者ら(主婦会館)

者市民社会とは何か」といふ返答に「消費者の権利の尊重」とともに「消費者の自立の支援」が法律に規定された。

課題としては、脆弱(ぜいじゃく)な消費者、すなわち子どもの権利と保護。子どもタッグのマーケティングに対する規制、あり方を検討すべき段階

・消費者庁設置に伴う自治体への財源措置が設けられた。消費者が自主的、主体的、規範的に行動すること、自らの権利を行使することが重要である。消費者基本法に

よると、消費者の権利は消費生活の基本的需要が満たされる、健全な生活環境が確保される、安全が確保される、必要な情報提供を受ける、被害を救済される、等々。一方で自己責任を負わなければいけないことを学びました。

妹尾が優勝

第三十九回岡山市婦人バレーボール大会(市連合婦人会主催)が七月二十一日、岡山市総合文化体育館で開催されました。

大会には、市内各学区地区から十九チームが出場。七月一日の組み合わせ抽選会で、相手チームが決まった二

うだるような暑さの中、選手のみなさんご苦勞様でした。

河会地区でホタルの養殖などで地域おこしをしている「河会山野草を守る会」から説明を受ける婦人会員ら（河会コミュニティハウス）



心かようまぢづくり
美作の地域おこし学ぶ
会長研修会

平成二十六年度岡山市連合婦人会の会長研修会が七月七、八日、「心のかようまぢづくり」をテーマに美作市で開催されました。まずは、美作市上田地区の古民家をリサイクルしたい「ちよう庵」にて、総務省主管の事業地域おこし協力隊として都会から移住し、地元の人から学びながら棚田再生、米づくり、炭焼きなどに取り組んでいる若者達のお話を聞きました。幸せな家族を持って豊かに暮らすために、過疎の山村でさまざまなことに挑戦し若者に新たな生き方を提示した



会長研修会に参加した学区地区婦人会長と「河会山野草を守る会」のメンバーら（満開アゼリア館）

「愛の村パーク」でバスを乗り換え向かった水ノ山後山那岐山国立公園の中にある宿泊所「駒ノ旺山荘」では、傍らの清流でのそめん流しでおもてなしを受けた後、地元婦人との交流会。東粟倉村が平成の大合併で美作市となり、どのように地域づくりに取り組んでいるのかその苦労話等を中心に交流会をもちました。二日目は、研修会場を「愛の村パーク」へと移動して評議員会。時間・経費等の都合で

「手作り体験」の研修会が、地域の人がこの施設を地域づくりの拠点として運営に創意工夫をこらしておられることが理解でき、多くの人々の温かい見送りを受けながら帰路に就きました。 県北の豊かな自然の中で「心のかようまぢづくり」に励む人々との交流は、この度の研修目的にピッタリで、私たちの婦人会活動の原点を見直す機会として、また明日への活動のエネルギーを培う研修会として楽しく有意義でした。

鉢飾り作りに挑戦

親子ガーデニング教室 針金曲げに四苦八苦



植木鉢の壁飾りを作る子どもたち（庄内小ひかりクラブ）

夏休み恒例の親子ガーデニング教室が七月二十三日より各地で開催されました。庄内学区では七月三十日、庄内小学校ひかりクラブで、児童と婦人会員ら三十六人が、公園協会の熊瀬徳輝先生の指導で植木鉢の壁かざりに挑戦しました。鉢に色を塗って、土を入れるところまでは何とかクリア、でもラ

出来上がった植木鉢の壁かざり
金を曲げるのは骨の折れる作業で、みんな四苦八苦の様子でした。婦人会員もつい手を出して、一緒に作りました。何とか全員できあがって、達成感に浸っていました。先生方も熱心に指導され、お疲れ様でした。子ども達からは「大変だったけどきれいな壁飾りができ



婦人会員に手伝ってもらいながら植木鉢に色を塗る子ども（庄内小ひかりクラブ）

岡山市出合いのひろば事業の運営を支えた岡山市連合婦人会役員ら（岡山国際ホテル）



良縁作るきっかけに
出合いの若者の交流お手伝い

今年も「岡山市出合いのひろば事業」を平成26年7月27日（日）午後4時から、岡山国際ホテルで岡山市と共催で実施しました。 今回のテーマは「出会いWithマナー」スキルUPで自分力UPです。 独身の若い男女各五十人が夜景のきれいなホテルでビュッフェ形式でのマナーを学び、実践・交流会に移りました。最近ではビュッフェ形式の食事も多く良い体験ができたようでした。あちこちでカッパルができています。 出会いはきっかけづくりで良縁が

編集後記

神々しい月見上げ
平和と無災害願う

季節はまさに秋真っ盛り。めっきりと過ごしやすくなりました。 やがてやってくるであろう寒い季節に怯えながらも、スポーツに読書、そして食欲と秋を満喫されている事と思います。 そして秋は何よりも月が美しい。中秋の名月は終わりましたが、これから寒くなるにつれ、凜とした月の姿を見られることも多くなりますね。 蒼い月光を見上げ、その神々しさに心奪われる。まるで、世の中のあらゆるものが浄化される様な。 そして、世の中が平和になり、あらゆる災いがなくなっていくことを願う。